



本定例会の 討 論

議案に賛成・反対します

令和6年度
一般会計決算

【討論とは】 質疑応答を経て、「なぜ賛成なのか」「なぜ反対なのか」の意見を述べ合うことです。
ここでは、定例会最終日に行われた、昨年度の決算(令和6年度一般会計決算)に対する討論の概要をお伝えします。

賛成

22 名

- 学校給食費無償化では、都補助が当初の2分の1から8分の7へ増額され、国の物価高騰対応重点地方創生臨時交付金活用により市負担を約3,000万円に抑えた。全ての子どもに栄養ある食事を提供する意義があり、厳しい財政状況ながら私立学校等にも拡大し、継続すべき重要な事業である。
- 若者の声を市政に反映する「U29チャレンジ部門」の創設や若者ミーティング、子ども若者平和ワークショップの実施は、大きな進展といえる。
- ひきこもり支援の調査や家族セミナーの実施、フレイル予防のためのeスポーツ導入にはさらなる発展が期待される。
- 若者への経済支援は具体的な取組がなく、アンケート調査でも経済的不安が最多であることから、早急な対応が求められる。
- 市税収入が堅調で、普通建設事業費もここ10年で最少にもかかわらず、財政調整基金残高が約5億円減少した。適切な財政需要の判断や事業優先順位の明確化が必要である。
- 建築資材や人件費の高騰、学校建設ラッシュや金利上昇が予測される中、効率的な財政運営が求められる。
- 特別支援学級の教室不足、保谷小学校の高架水槽破損、給食調理事業者による異物混入などの課題への模索は評価できるが、市長部局と教育委員会間の意思疎通不足は反省すべき点である。

反対

4 名

- 学生・若者世代への具体的支援策を2年間も途絶えさせてしまった。
- PFAS検査は今年度予算に計上されたが、市として1年前に対策を打つべきだった。
- 単年度収支と実質単年度収支が3年連続で赤字となり、経常収支比率95.5%の財政硬直化に対して緊張感が欠如している点は看過できない。



採決の様子



本会議録画映像▶
(10月1日)

討論の様子を
動画で見ると

その他の討論は会議録
に掲載します。公開予
定は10面をご覧ください。



常任委員会の審査から

3つの分野に分かれて、議案や請願・陳情等を詳細に審査しています。質疑の一部を紹介します。
全文は後日、会議録に掲載されます。公開予定は10面をご覧ください。



動画視聴はここから！

〈委員会中継QRコード〉
(会議録が作成されると視聴は終了します)

企画総務委員会

市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する 条例の一部を改正する条例 ほか1件

職員の働き方が変わります

【説明】 部分休業制度および子育て部分休業制度の拡充等を行う。

【主な質疑】 利用者からの意見は、小1の壁が無くなり、大変便利という声がある。

【結果】 賛成全員で可決

市職員の旅費に関する 条例の一部を改正する条例 ほか4件

職員・議員の旅費の規程が変わります

【説明】 レンタカー賃料等を新たに支給対象とし、宿泊費については定額支給から地域ごとの実費支給とする。

【主な質疑】 複数人でレンタカー移動したほうが早く、費用も安く移動できるなどの場合、支給は認められるのか。
【答】 安全上の理由等から公共交通機関の利用が原則だが、渡航先の移動が極めて不便であるとか、徴収業務など複数の目的地を回るような場合に例外的に認められる。

【結果】 賛成全員で可決

文教厚生委員会

休日診療所設置条例の一部を改正する条例

休日診療所の診療時間を短縮
「午後9時まで」を「午後7時まで」に変更

【説明】 中町分庁舎における休日診療所の診療時間を、令和8年4月から変更する。

【主な質疑】 短縮とする理由は、医師の確保が難しく、午後7時以降の受診者数が少ないため。

【問】 午後7時以降の受診者数は、令和6年度実績で121人、1日平均1.6人。

【結果】 賛成全員で可決

乳児等通園支援事業の設備及び運営に 関する基準を定める条例

「こども誰でも通園制度」の実施を予定

【説明】 0歳6か月以上満3歳未満の保育所等に通っていない子どもを対象に、乳児等通園支援事業を開始する。

【主な質疑】 既に保育園での一時保育や、幼稚園での未就園児の定期的な預かりもある中で、なぜ実施するのか。
【答】 子どもの成長の観点から、子どもの育ちを応援する制度として実施する。

【結果】 賛成全員で可決

建設環境委員会

所管事務の調査*

ひばりヶ丘駅北口の西側に、公園を整備

【説明】 令和5年度に生産緑地の活用についてアンケートとワークショップを実施し、公園として整備する方針を決定した。
令和6年度に市民意見を反映した基本設計イメージ図を作成し、令和7年度に事業認可を受け、今後は実施設計を進め、令和8年度以降に工事を開始する予定。

【主な質疑】 公園の愛称は考えているのか。
【答】 都市計画公園としての名称は「ひばりが丘北四丁目公園」だが、愛称については、開園前に市民の皆様の意見を聞いて決定したい。

【問】 市民アンケートやワークショップで、具体的にどのような意見が出たのか。

【答】 小学生からはジョギングコース、中学生からはベンチ、大学生からはマンホールトイレ、一般の大人からはウォーキングコース、近隣住民からはイベント用の多目的広場の設置といった意見があった。

【問】 公園の地面は、どのような素材を想定しているのか。

【答】 主に、転んだ際の安全性が高いダスト舗装を想定している。

【問】 公園の防災機能は。

【答】 マンホールトイレは3基設置できるよう検討している。また、100トン程度の水を貯めることができる耐震性貯水槽も設置予定。